

農業農村整備事業の概要

(事業概要の抜粋)

令和3年5月

(近畿農政局 農村振興部 設計課)

農林水産省

近畿農政局管内各機関位置図


(令和2年6月1日現在)

- ・淀川水系土地改良調査管理事務所
(京都市伏見区桃山町永井久太郎56)
加古川水系広域農業水利施設総合管理所
川代ダム管理所
鴨川・大川瀬ダム管理所
糍屋ダム管理所
- ・南近畿土地改良調査管理事務所
(奈良県吉野郡大淀町下淵388-1)
大迫ダム管理所
津風呂ダム管理所
- ・土地改良技術事務所
(京都市伏見区深草大亀谷大山町官有地)
- ・湖東平野農業水利事業所
(東近江市八日市町2-7)
湖北支所
- ・東播用水二期農業水利事業所
(神戸市西区神出町小束野30-19)
- ・亀岡中部農地整備事業所
(亀岡市安町野々神31-5)
- ・和歌山平野農地防災事業所
(紀の川市貴志川町神戸327-1)



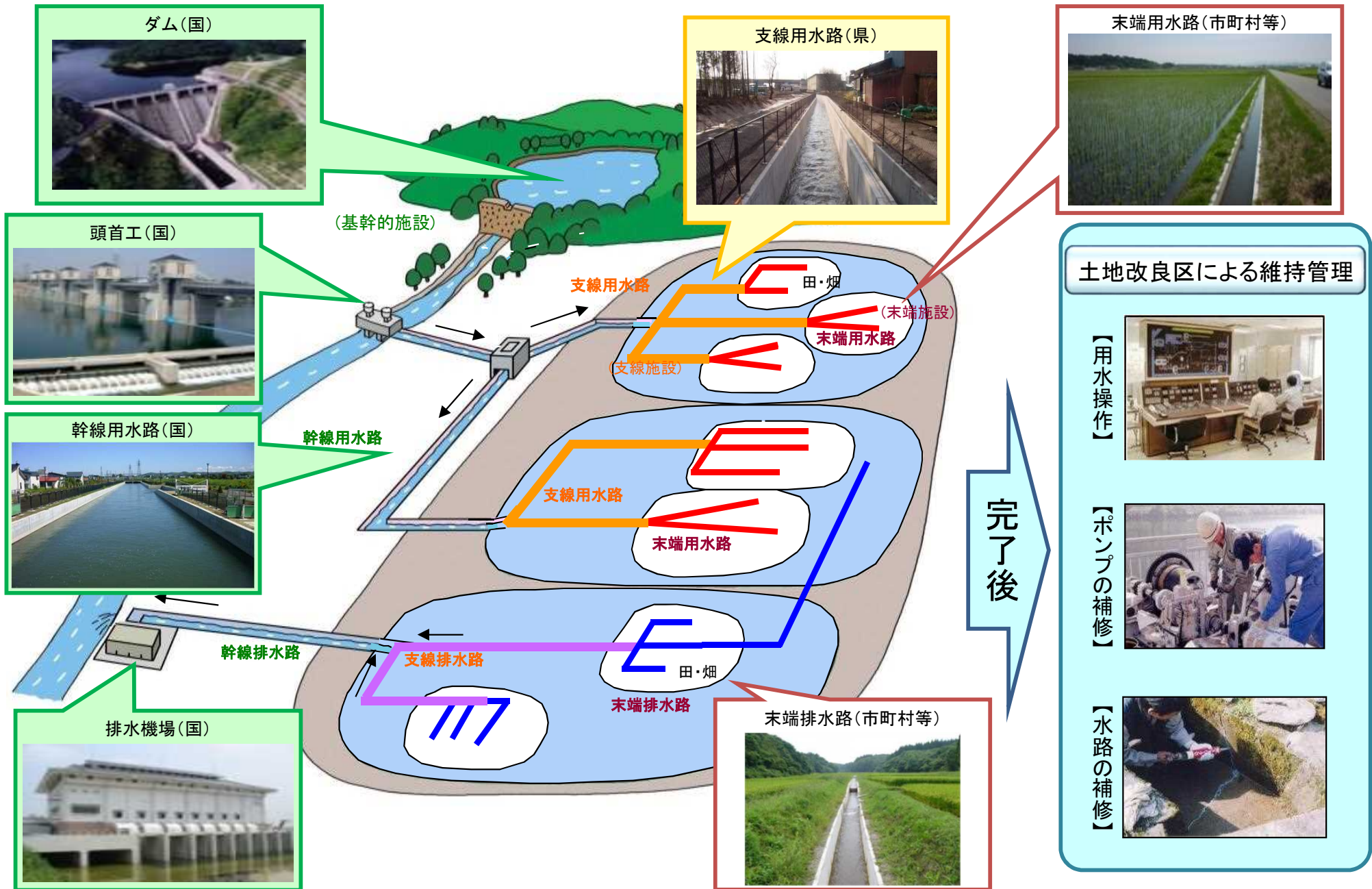
農業農村整備事業の概要

- 良好な営農条件を備えた農地や農業水利施設は、我が国の農業生産を支える重要なインフラ。
- このため、農林水産省では農業農村整備事業により、農地・農業水利施設の整備を実施。

	事業内容 (規模により国営、県営、市町村・土地改良区営)	農業基盤の課題
1 かんがい排水事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業水利施設（ダム、堰、用排水路、用排水機場等）の整備・更新 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基幹的水利施設※の3割が耐用年数を超過 ○ 点検・補修による長寿命化の推進 <p>※受益面積100ha以上の農業水利施設</p>
2 農地整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農地の大区画化・汎用化、畑地かんがい施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 狭小・不整形の農地は作業効率が悪く、担い手農家も敬遠 ○ 大区画化・汎用化により生産コストの大幅削減と収量の増大
3 農地防災事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集中豪雨・地震等の自然災害に対応するための農地の湛水防止、ため池の改修等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集中豪雨の多発化 ○ ため池は全国に約16万箇所。そのうちの主要なため池の約7割が江戸時代以前に築造されており、豪雨や地震に対して脆弱なものが多数

かんがい排水事業の概要

- 農業用水の安定供給と排水の改良を図るため、ダム・堰（頭首工）・用排水路・用排水機場を整備。
- これらの施設の整備・管理は、国と地方が役割分担して実施。



農地整備事業の概要

- 農地中間管理機構との連携を図りつつ、担い手への農地の集積・集約化の加速化や、生産コストの削減に資する農地の大区画化等を推進。
- 農家の収益力向上のため、米中心の営農体系から野菜等の高収益作物を取り入れた営農体系への転換等に資する水田の汎用化・畑地化や畑地かんがい施設の整備等を推進。

水田整備のイメージ



大区画化された水田



汎用化水田で作付けされた
タマネギ

畑地整備のイメージ



スプリンクラーによる散水



多孔管方式による散水



畑地帯に整備された農道

農地防災事業の概要

○ 農地・農業用施設等に対する災害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定を図るとともに、国土保全、地域住民のいのちや暮らしの安全の確保に貢献。

排水施設の整備

流域開発等によって、雨水の流出状況に変化が生じ、湛水被害が頻発している地域において、排水施設を整備することにより、農用地の被害を防止するとともに、宅地等の浸水も防止。



台風による農地の湛水状況

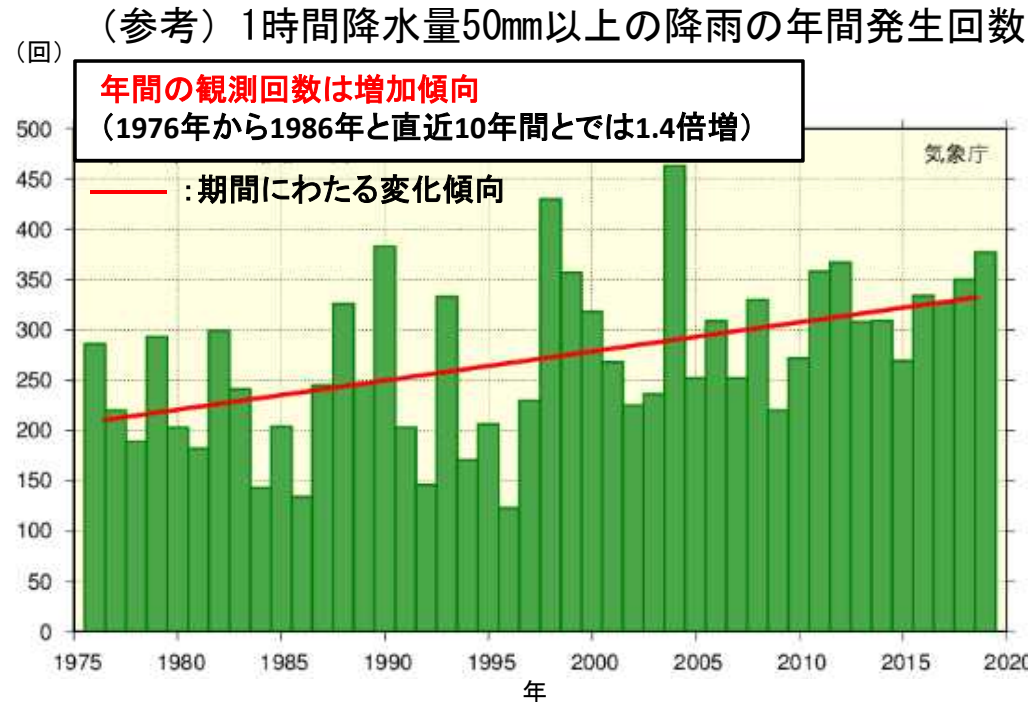


排水機場の整備



排水路の整備

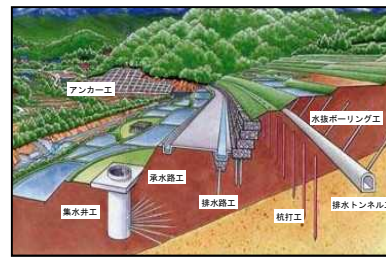
○近年、集中豪雨が増加し湛水被害が増大してきている中で、農地や周辺住宅地の排水対策を推進



地すべりの防止



地すべりの発生



地すべり防止対策工法イメージ図



地すべり対策工事の完了

ため池の改修

老朽化したため池を整備することにより、決壊や崩壊を防ぎ、下流の農用地を守るとともに、宅地や公共用施設の被害も防止。



整備前 (イメージ)



整備されたため池

台風の影響で決壊したため池



事業所組織図（標準例）

